

堺市移動等円滑化促進方針（案）の概要

〈これまでの取組〉

- 「堺市交通バリアフリー基本構想」（平成13年～15年度）
駅や周辺地区のバリアフリー化を促進するために策定。
（重点整備地区：市内17駅14地区）
- 「堺市バリアフリー基本構想」（平成27年度策定）
高齢者・障害者などが日常よく利用する施設が集積する区域で、施設間を結ぶ経路を含め、旅客施設・車両、建築物等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するために策定。
（重点整備地区：JR津久野駅周辺、泉北高速鉄道榎・美木多駅周辺）

〈方針策定の背景〉

- 平成30年に「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」が一部改正され、法に基づく措置が「共生社会の実現」「社会的障壁の除去」に資することを旨として行わなければならないことが明記され、「面的・一体的なバリアフリー化を一層進めることを目的として、市町村のバリアフリー化に関する基本的な考え方を示す移動等円滑化促進方針の策定に努めることとする旨の制度についても定められました。
- これらを踏まえ、本市においても、**高齢者や障害者を含むすべての人にとって利用しやすい環境を作るため、その考えを示す「移動等円滑化促進方針」の策定が必要**となっています。

〈現状・課題〉

- これまで特定の地区（＝重点整備地区）でバリアフリー化の取組を進めてきましたが、高齢者や障害者を含めたすべての人にとって社会参加しやすい環境とするために、**特定の地区に限らない全市的なバリアフリー化の取組を推進**する必要があります。
また、法改正をはじめとする**社会情勢や街並みの変化に合わせた基本構想の評価・見直し**の必要があります。
- また、**市民が施設を円滑に利用するために、どのような配慮を必要としているか、社会的障壁が存在していないか等を当事者として意見を表明する機会の確保**が必要とされています。

〈改正バリアフリー法に基づく移動等円滑化促進方針の策定〉

これまでの「堺市交通バリアフリー基本構想」や「堺市バリアフリー基本構想」においては、高齢者や障害者を含めたすべての人々を対象とした「移動しやすさ」を念頭に置いた取組を進めてきましたが、これからの社会は**移動した後の「社会参加のしやすさ」が求められている**ことから、「堺市移動等円滑化促進方針」においては、次の事項を基本理念とし、各視点を踏まえたバリアフリー化を促進します。

◆基本理念

『みんなが生活しやすく安全・快適で活力のある堺へ』

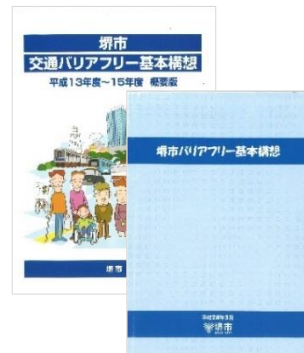
◆視点

- ① みんなが使いやすいユニバーサルデザインの考え方をベースとした、堺市民のみならず来訪者も快適に移動・利用できる空間整備
- ② 高齢者・障害者などの自立を支援し、活気のある日常・社会生活を過ごせるための多様な移動手段の確保
- ③ 市民、当事者参加型によるバリアフリー化の取組
- ④ 市民それぞれがバリアフリー化についての理解を深め、互いに尊重して過ごせる都市を実現するため、「心のバリアフリー」の推進
- ⑤ バリアフリーに関する情報提供の促進

◆重点的な取組① 基本構想の評価・見直し等

「堺市交通バリアフリー基本構想」、「堺市バリアフリー基本構想」では、重点整備地区を設定し、バリアフリー化を推進してきました。

今後は、各重点整備地区に関してこれまでの取組を評価し、**社会情勢や街並みの変化に合わせた生活空間全体におけるバリアフリー化を進めるため、順次見直し等を実施**します。



◆重点的な取組② 当事者参加の機会確保

市が建設する一定規模以上の施設について、計画検討等の適切な段階から高齢者や障害者等が参加する意見交換会等を通じて、**当事者としての意見を表明する機会が確保される仕組み**を構築します。

利用者の視点に立ったきめ細やかな配慮をすることにより、高齢者や障害者を含む様々な利用者が安全かつ快適に利用できることをめざします。



（整備に関する説明会の様子）

◆バリアフリー化の推進に向けた主な取組・さらなる拡充に向けた検討

重点整備地区に限らず、都市全体のバリアフリー化を進めるため、次のような取組等を実施します。

【継続的な取組】

- ・バリアフリー化施設の適切な維持管理
- ・バリアフリーに関する情報提供
- ・重点整備地区以外のバリアフリー化の推進
- ・放置自転車対策と自転車の安全利用の推進

【さらなる拡充に向けた検討】

- ・百舌鳥・古市古墳群など来訪者を迎えるバリアフリー化
- ・災害時、緊急時における要支援者への対応
- ・学校のバリアフリー化
- ・新しい生活様式への対応

◆SDGsの達成に向けて

平成27年9月の国連サミットにおいて採択されたSDGsのうち、特にゴール11【包括かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する】に貢献するものであり、この視点を踏まえて取組を推進します。

